

2017年度 ドコモ市民活動団体助成事業 終了報告書

記入日： 2018年9月28日

活動名	ひとり親家庭の不登校児童・生徒を対象とした 訪問学習指導		団体名称	特定非営利活動法人ウィーズ	
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
			活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動	
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容	
不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている児童・生徒の自宅に週1回・半年間訪問し、児童生徒に対する学習指導・カウンセリング及び保護者に対する包括的サポートを実施。子どもたちが社会や学校への復帰を自ら望むようになり、実際に外へ出て生き抜いていけるよう、学習面・生活面・精神面など様々な視点からトータル的な支援を行った。 (生徒9名、保護者8名)		2017.9月上旬 2017.9月中旬 2017.10月～ 2017.12月上旬 2018.2下旬 2018.3月下旬 2018.4月～ 2018.6月より以降継続		①事務局ミーティング ②広報媒体の整備 ③備品等必要物の準備 ④広報活動 ⑤訪問活動スタート ⑥事務局ミーティング ⑦ふれあいキャンプの実施 ⑧保護者向け情報誌の発行 ⑨訪問期間終了後のアフターフォロー	
■活動目標		不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている、ひとり親家庭の児童生徒及び保護者に対する包括的サポートを実施する。子どもたちが社会や学校への復帰を自ら望むようになる。			
■長期成果		不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている児童・生徒10名の自宅に週1回半年間訪問し、ひとり親家庭の子どもたちが「学校」や「一般的な家庭のあり方」へ固執せず、自分自身の人生を自ら切り拓いていけるように既存の仕組みでサポートできない子どもたちを支援することができる。			
活 動 風 景					
					
三者面談の様子		仲間と共に学習できるようになった子どもたち		船橋市議会議員さんにも協力いただきました	
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信	
(得られた成果) 目標人数に届かなかったが、ひとりひとりに向き合うことで保護者に働きかける必要性とその方法を見出すことができた。 (今後の課題) 一方で必要な人に必要な支援や情報をどうすれば届けられるかは、今後も課題であると感じた。		仲間と共に学習できるようになった子ども、学校に通い始めることができた子どもなど、状況の変化は、子どもによって様々だが、全ての子どもたちに一定の改善が見られた。少人数に対し丁寧に対応できたことが大きかったと思う。		市議会議員さんや、不登校解消カウンセラーとの連携体制を構築することができたことから、今後の活動に活かし、子どもたちに還元していきたい。	
〒 274-0063 (住所) 千葉県船橋市習志野台4-1-7 (団体名) 特定非営利活動法人ウィーズ (ホームページ) : http://we-ed-s.com/				助成金額 550,000円	
				助成期間 H29.9.1～H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。